

指標57 身体抑制

指標の意義

身体抑制は本来あってはならない行為ですが、手術のあとなど患者さんの療養を適切に行うため、やむを得ない場合に身体抑制を行うことがあります。患者さんの人権の視点からも、より限定された患者さんへ、より早期に解除することが必要です。

この指標は身体抑制の実態を把握し、早期に抑制解除を行う努力が継続されているかどうかを検証するものです。

分子 身体抑制を実施した延べ日数(A,B,C共通)

分母 A) 当月の身体抑制を実施した患者数

- B) 当月の入院患者延べ数(退院患者延べ数含む)
- C)複数のスタッフで検討した記録のある回数

Plan(計画)

●【データ分析】

2020年1月より、毎月診療情報室で身体抑制 状況のデータ をまとめる 診療情報室で出した毎月のデータから指標 の計算式で算出し傾向を把握

Do(実行)

●【看護師クリニカルラダートピックス研修】 2021年度

当院の認知症患者の抑制の実態と抑制解除に向けての考え方について

●【認知症サポートチーム】

認知症サポートチームが介入している患者で、身体抑制をしている患者を対象の身体抑制の軽減

PDCA

Check(評価)

●【早期解除の検討】

Action(改善)

カンファレンス記録のフォーマット修正。 毎回のカンファレンスで重点的に検討して いる

●【データ分析】

身体抑制状況のデータ分析

活動内容

調査

毎月のデータ調査から分析と対策を実施する

援助

●病棟看護師に対して専門看護師が支援

教育

職員に抑制の三要件を始めとした教育・啓蒙を 行う。

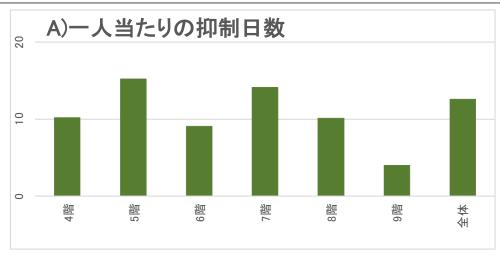
還元

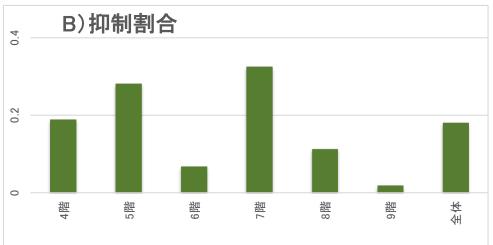
- ●各職種、部門にデータを還元する
- 患者さん、友の会の会員さん、地域のみなさん にデータを還元する
- 病院ホームページへの掲載、職員向けニュースの作成など

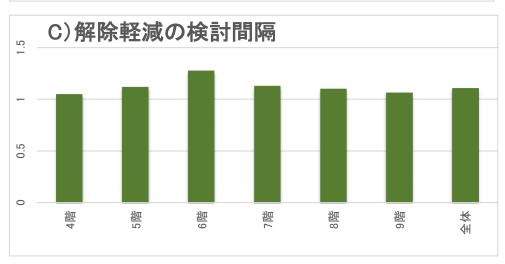


指標57 身体抑制

2021年度身体抑制実施状況調査







●QM委員会より

身体抑制は本来あってはならないことなので、今後もより早期に解除できるよう取り組みを継続していきます。また職員教育を継続し、常に人権意識を高めた状態を維持したいと思います。